

## 代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社  
代表取締役 井上 明美



いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。若葉が薫る頃となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

各界でのコロナ感染者の出現に戸惑いを隠せない社会情勢となりました。私達にできる小さな事を続けていくしかないと思っております。来年の同じ季節が来る頃には、今の厳しい状況を懐かしく思えることを願うばかりです。寒暖の差が大きい季節柄、なおいっそうご自愛ください。

## サンライズの物語

### 一人ひとりができることを考える

### 見えない敵に立ち向かう物語



その方はご主人を二年前に末期の癌で無くされ娘さんと二人で暮らしていた方でした。

通所介護や訪問介護を利用していましたが、両下肢筋力が低下傾向にあり自宅で何度も転倒を繰り返している内に右上腕を骨折、ベット上の生活となってしまったのでした。

認知機能も低下しておりましたが娘さんが昼夜問わずに、かいがいしい介護をしていたのです。

そんな折、前日まで元気に話をされていましたが次の朝突然意識が無くなってしまったのです。訪問診療が駆けつけましたが今日中との余命宣告、東北に居た長男が自宅に着くのは四時間後との事。

私も午前中に訪問し、ご本人様へ「息子さんが今向かっているから待って下さいね」と娘さんと何度も声を掛けたのです。娘さんは泣いておられ「最後まで安心できる声掛けをして欲しい、お母様は聞こえているからね」と言うのが精一杯でした。

そんな日の午後娘さんから「息を引き取りました」との連絡に訪問すると息子さんもいらっしゃいました。息子さんが到着して、玄関のインターホーンを押した時に「お母さん、お兄さんが来たよ」と言うとうなずいたものの部屋に着くと息を引き取っていたとの事。親子の絆は意識が無くても繋がっていたのだと思いました。虫の息でも息子に会いたいと言う思いが成した奇跡。生まれてから、その方が人生を終わらせる時に全ての生きざまが集約するのではないかと思います。

いつも思うことは、介護職として利用者お一人お一人の最期に立ち会うことができた事への感謝です。

## サンライズのデイサービス陽光だより

【介護職員】  
青山 明人



サンライズのデイサービス陽光の介護職員の青山です、よろしくお願いいたします。

なんでもやります！がんばります！

【入社 1月14日】 【血液型O型】



井上から  
エール！

以前は施設のリーダーに従事しており  
介護職としての視点が素晴らしく  
今後の活躍に期待しております。

## 介護に役立つ書籍紹介

NEWS 今月のニュース

### 悩み相談も受ける「正社員チワワ」飼い主より人気者 介護施設での肩書は？

沖縄県那覇市識名の高齢者施設「アプレシオ真地」でチワワのマルが「正社員」として活躍している。利用者や同僚に癒やしを提供したり、時には悩み相談を受けたり。施設の「笑顔引き出し係」として日々走り回っている。

マルの本名は平敷マル。施設の看護師として働く平敷美由紀さん（40）が2カ月前に家族として迎え入れた。平敷さんは日中は職場で過ごすためマルの相手ができ

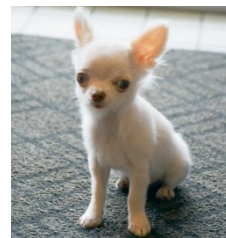
ない。「1人で家に置いておくのはかわいそう」と、昨年のクリスマスシーズンから職場に連れてくるようになった。

施設を利用する人は80代以上。平敷さんは「私の名前は覚えてくれないけど、マルが来ると『マルおいでー』と呼ぶ人もいますよ」とその人気ぶりを明かす。80代の利用者の女性はマルを抱えながら「小さくてかわいいねえ」といとおしそうになでた。

施設の代表を務める名嘉智之さん（43）は「マルが来て、さらに施設の雰囲気明るくなった」とにっこり。マルの撮影係も担当

し、「最初の頃は全然近寄ってくれなかったけど、最近はすりすりしてくれるのでうれしい」と顔をほころばせた。

マルはタイムカードで出勤の管理をしている。現在の時給は10円。名嘉さんは「これからもみんなを笑顔にする存在として居続けてほしい」と願った。



<沖縄タイムス+  
2020年3月2日(月)>

広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>